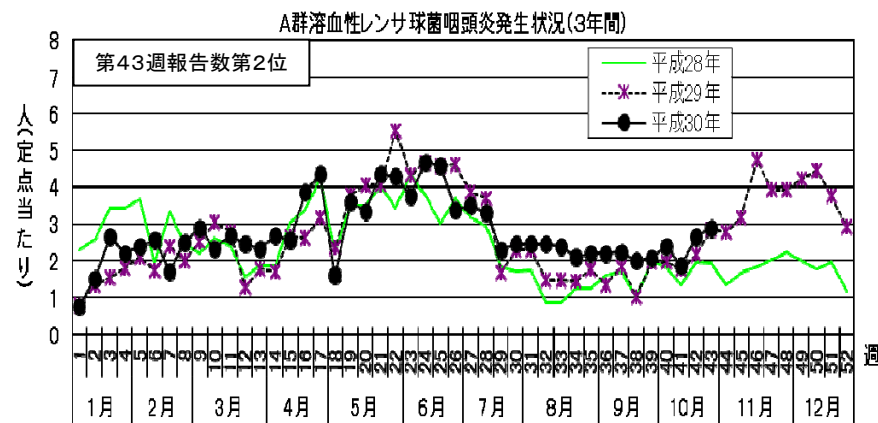
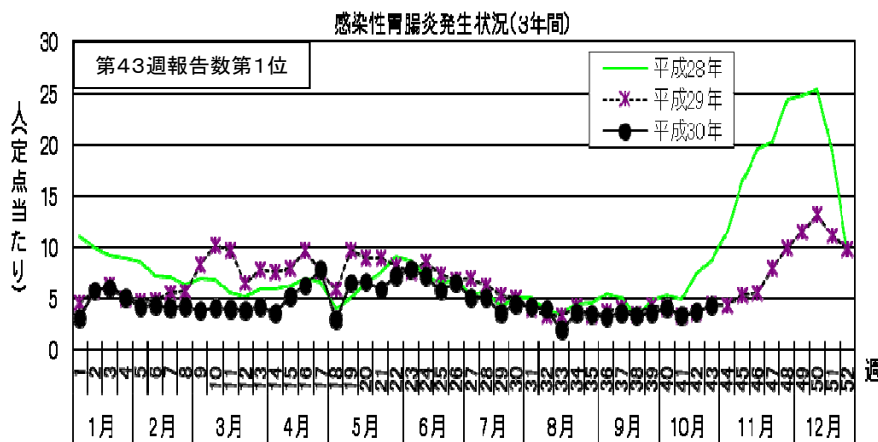


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年10月22日（月）～平成30年10月28日（日）〔平成30年第43週〕の感染症発生状況

第43週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)伝染性紅斑でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.30人と前週（3.76人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.89人と前週（2.65人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。
 伝染性紅斑の定点当たり患者報告数は1.62人と前週（1.35人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



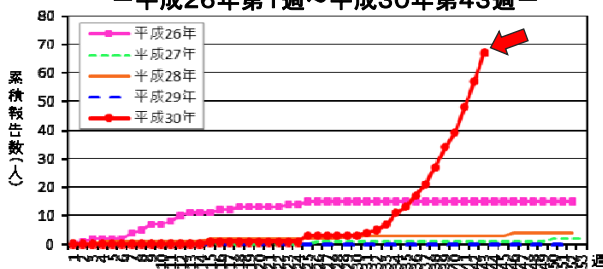
先天性風しん症候群（CRS）の発生を防ぎましょう！

今年は、川崎市においても風しんの患者報告数が著明に増加しており、平成30年10月28日までの報告数は計67件で、特に20歳代～50歳代の男性及び20歳代の女性の報告が多くなっています。

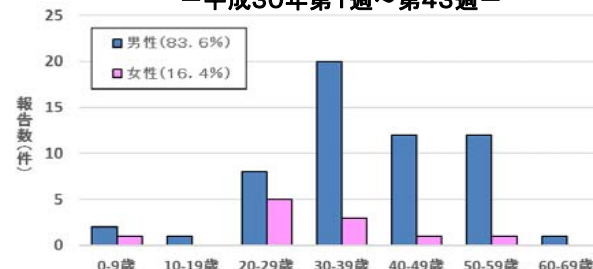
妊娠20週頃までの妊婦が風しんに感染すると、白内障、先天性心疾患、難聴などの症状を呈する先天性風しん症候群（CRS）の児が生まれる可能性があります。

CRSの発生を防ぐためには、妊婦への感染を防ぐことが重要です。生まれてくる子ども達をCRSから守るために、特に妊娠を希望する女性やそのパートナーなどで接種歴や罹患歴がない又は不明の方は、抗体検査や予防接種を御検討ください。

川崎市における風しん累積報告数
—平成26年第1週～平成30年第43週—



川崎市における風しん性別・年齢階級別発生状況
—平成30年第1週～第43週—



川崎市風しん対策事業について

本市では、無料の抗体検査と抗体価の低い方へのワクチン接種費用の一部助成を実施しています。

1)風しん抗体検査（無料）

- 【対象者】・妊娠を希望する女性
 ・妊娠を希望する女性のパートナー
 ・妊婦のパートナー

2)予防接種（自己負担額3,200円）

- 【対象者】風しん抗体検査の結果、抗体価が十分でなかった方